



つばさだより No.247
2015年6月



つばさ薬局 多賀城店	☎022(366)8001	吉川店	☎0229(22)7010
長町店	☎022(308)5711	泉店	☎022(772)1571
船岡店	☎0224(58)1065	若林店	☎022(289)8777
中新田店	☎0229(64)1888	松陽台店	☎022(361)9444
松島店	☎022(353)2990	こごた店	☎0229(31)2550
玉川店	☎022(365)2838		

とびひ

伝染性膿痂疹

今年もいよいよ梅雨のシーズンになりました。じめじめして生活にしにくいですが夏はもう目の前まで来ています。体調を崩さず頑張りましょう。

さて、今回はとびひについてお話したいと思います。正式な病名は「伝染性膿痂疹（でんせんせいのうかしん）」といいます。皮膚に感染が起こり水疱ができそれが破けて菌があちこちに飛び散って広がります。まるで「飛び火」のようであること

から一般的に「とびひ」と呼ばれています。夏場に多くみられますが、最近では暖房などの影響で冬場にもみられるようになりました。とびひは子供にかかる病気だと思われる方も多いと思いますが大人もかかりますのできちんと病気を理解し適切な治療を行う必要があります。

原因

とびひは虫さされや擦り傷、湿疹・あせもなどをかきむしったところのような、皮膚にできた浅い傷に菌が入り込んで感染し症状が起こります。また、アトピー性皮膚炎の患者さんのように、皮膚のバリア機能が低下している場合も感染しやすくなります。

原因菌としては「黄色ブドウ球菌」と「レンサ球菌」の2種類ですがほとんど場合「黄色ブドウ球菌」によるものと言われています。

黄色ブドウ球菌は、どこにでもある菌の一つで、環境の中にはもちろんのこと、人の鼻の穴や耳の穴、のど、皮膚などにも常在菌として住んでいます。

○ とびひの種類

とびひには「水疱性(すいほうせい)膿痂疹(のうかしん)」と「痂皮性(かひせい)膿痂疹」の2種類があります。水疱性膿痂疹の場合は黄色ブドウ球菌に、痂皮性膿痂疹の場合はレンサ球菌に感染して起こることが多いとされています。

水疱性膿痂疹は、まず水疱ができ、それが破れて「びらん」となるのが特徴的で、とびひの多くはこのタイプです。痂皮性膿痂疹は、まず水疱や膿疱ができ、その後、厚いかさぶたになるのが特徴です。



○ なぜ治療が必要なのか

とびひは早いうちに適切な治療を行えば、症状の広がりを最小限に抑えて、短期間で治すことができます。ただ、そのまま放っておいたりすると症状が悪化してなかなか治らなくなる場合があります。伝染力が強い病気なので他の人にうつしてしまうことにもなります。また、子供の場合はまれに、とびひの原因菌がもとで合併症を起こすこともあるので、菌をきちんと退治しておく必要があります。とびひかな?と思ったら、早めに受診をして治療をしましょう。

○ 治療

とびひは細菌が原因の感染症なので、治療は細菌を退治することが第一になります。薬は、黄色ブドウ球菌やレンサ球菌に効く抗菌薬を使います。症状が軽く、あまり広がっていない時は、よく泡立てた石鹸でやさしく洗うなどして皮膚を清潔に保ち、抗菌薬の入った塗り薬を塗るだけで治ることもあります。とびひは文字どおり、いろいろな場所に広がり、塗り薬のみでは治療が間に合わないことがあるため、多くの場合は、塗り薬に加えて、抗菌薬の飲み薬を一緒に服用します。

患部の状態によっては炎症を抑える薬(ステロイド薬)を使う場合もあります。痒みが酷い時には、痒み止めの薬(抗ヒスタミン薬)を使うこともあります。

いずれの場合も、家ではシャワー浴などで患部をきれいに流し、清潔に保つことが非常に大事です。

○ 主な治療薬

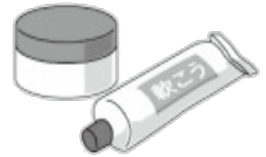
① 抗 菌 薬

細菌の増殖を止めたり死滅させたりする力があります。

感染している菌の種類によって、効く薬の種類も変わりますので、医師が診察時にこれを見極めて処方します。とびひの場合は塗り薬と飲み薬を併用することが多いです。

② 副腎皮質ホルモン（ステロイド）薬

炎症を抑える薬です。アトピー性皮膚炎があり、湿疹をかきむしったことが原因でとびひになっている場合などに、湿疹を治療するために使われます。短期間の使用であれば副作用はほとんどありません。



③ 抗ヒスタミン薬

ヒスタミンとは、体内にある痒みやアレルギー症状のもとになる物質です。抗ヒスタミン薬はこのヒスタミンの動きを抑える薬で、塗り薬と飲み薬があります。痒みが強い場合は、抗ヒスタミン薬を用いることがあります。飲み薬は眠気を生じることがあります。

○ 生活の中で心がけること

- できるだけ早く病院を受診する
- 患部をかきむしらない
- お風呂は湯船に入るのは避けてシャワー浴にする。
- 清潔を保つため石鹸をよく泡立ててやさしく患部を洗い流す
- 家族にうつらないよう、タオルや衣類は共用しないようにする
- 患部が乾くまではプールには入らない
- とびひは必ずしも園や学校を休まなければいけない病気ではない

注) 基本的に状態が良ければ、ガーゼや包帯などで患部を覆えば登園・登校は可能ですが医師や園・学校に相談し、指示に従ってください。



○ 治療の継続と終わり

とびひの治療は、原因となる菌に合った抗菌薬を使うことが重要ですが、初診時にはまだ原因菌がはっきりと分かっていないことが多く、症状から推測して薬を処方しますので、まず3～4日分が出され、「もう一度来てください」と言われることがあります。

最初に出された薬でなかなか症状が改善しない場合は、薬が菌に合わなかったことが考えられ、それに適した薬を選び直す必要があります。複数の原因菌が関係していたり、MRSA（メシチリン耐性ブドウ球菌）と言われる、特別な薬が必要な菌が原因である場合もあります。

最初の薬が効かないからといって通院や治療を中断せず、状態を詳しく説明して、改善策を検討してもらいましょう。その方がより良い治療が出来ます。

また、処方された薬は指示された期間、きちんと最後まで飲んだり塗ったりすることがとても大切です。少し症状が良くなったからと勝手に自己判断で薬の使用をやめると、症状が再燃したり合併症を引き起こすことにもなりかねませんので注意しましょう。

参考文献：アステラス製薬.なるほど病気ガイド



※ 下記の日程で行いますので、栄養相談を受けたい方、詳細のお問い合わせは最寄りの店舗までご連絡下さい。

7月の無料栄養相談予定 (各店10:00～12:00開催です)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| • 1日(水) 若林店 | • 3日(金) ことた店 | • 7日(火) 泉店 |
| • 9日(木) 長町店 | • 13日(月) 玉川店 | • 16日(木) 松島店 |
| • 21日(火) 中新田店 | • 23日(木) 古川店 | • 27日(月) 船岡店 |
| • 29日(水) 多賀城店 | • 31日(金) 松陽台店 | |